

公園再生通信 4号

これまでに 104 件の公園づくりが行われています（平成 20 年 8 月末現在）。

最も取組まれたのは花壇づくりですが、次いで、

花木の植付けなど樹木に関する活動も 21 件行われました。

樹木は、春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の樹形の美しさ・・・と

私たちの生活に潤いを与えてくれます。

今回は、こうした樹木に関する地域での活動をご紹介します。

井口第一公園(西区) ハナモモの植付け

活動の中心は、井口四丁目町内会の皆さんです。井口第一公園は、設置してある遊具にちなんでいつの頃から「くまさん公園」と呼ばれ親しまれています。



サクラの下でお花見

—活動のきっかけは？

もっと公園をきれいにしよう、一人 10 本でも草を取ろうとはじめました。草が伸びていると犬のフンが置いたままになってしまいます、草を刈ってきれいにしておけば、そういうこともなくなるのでは考えました。月に 2 回の町内での清掃に加え、“パークキーパー”と呼ぶ町内会の役員を中心とした草刈りも 1 年半ほど前から行っています。

—活動内容を教えてください。

市の支援を受けて、2 月に、ハナモモを植えました。昔、このあたりは「古江のイチジク、井口のモモ」と言うほど、山一面にモモ畑が広がっていました。そのころの名残で、今でもお昼と夕方にサイレンがなります。



ハナモモの植付け

作業員へ時間を知らせるためのサイレンだったのです。そうしたことにちなんで、ハナモモを選びました。

ほかにも、春になると、サクラ、ハナミズキ、サツキと順に花を楽しむことができます。これらは今まで少しずつ植えられてきたものです。今年 4 月には、約 40 年前に植えられ大きくなったサクラの木の下で町内の花見を行いました。町内の親睦を深めるよい機会になりました。

寄付により、フェニックスの木も植えることができました。大きく育て、公園を象徴する木になっていくと思います。枯れないように毎日様子を見ています。



フェニックス

—活動をはじめてよかったなと思うことや変化はありますか？

公園がきれいだと、使う人のマナーがよくなります。

今年は、町内の活動として、花見もしましたし、7 月には、ソーメン流しもはじめて行いました。子どもたちも含め様々な世代が参加し、楽しい会になりました。昨年には“くまさん公園”に、念願のパンダさんの遊具も加わって子供たちも喜んでいました。グランドゴルフも行っています。公園内には集会所もありますし、地域の人が集う場になってきています。これからますます地域にとって、公園はなくてはならない場所になるだろうと思います。

—今後の抱負は？

広島は戦後「70 年間は草木も生えない」と言われてきました、しかし、これまでにたくさんの木が植えられ、緑豊かな街になっています。まずは身近な公園からと取り組んできましたが、こうして花見も楽しめるようになりました。

初夏に取り組み始めた花壇づくりも、涼しくなってきたので本格的に活動が始まります。

これからも“広島一の公園”を目指して、取り組んでいきたいと思っています。



空鞘公園(中区) サクラの樹勢回復

公園内のサクラが弱ってきていると感じた地域の方が、町内に呼びかけをし、昨年12月に有志でサクラの木の保護活動を行いました。

専門家に教わりながら、肥料を与え、根元保護のために、落ち葉を集めたものをサクラの周辺に敷きつめ、上から土をかけました。

サクラに元気になってもらいたいという皆さんの気持ちが伝わる丁寧な作業でした。



保護活動のようす

身近な公園再生事業では、新たな施設づくり(花壇づくりや木の植付け等)だけでなく、樹木の育成や保護にも、活動支援を行います。ご相談ください。

さて、樹木の漢字名です。皆さんはいくつ読めますか？(答は最後に)

- | | |
|--------|--------|
| 1 桜 | 6 紅葉楓 |
| 2 樟 | 7 粗榿 |
| 3 樺 | 8 山百百 |
| 4 馬刀葉椎 | 9 貝塚伊吹 |
| 5 白榿 | 10 椿 |

これらの木は、広島市の公園に植えられている本数が多い順に10番目までの、皆さんの身近で見ることができるものです。名前を読んで、木の姿が頭に浮かびましたか？

木と仲良くなる方法の1つに、

“樹名板づくり”があります。

皆さんの地域の公園でも手づくりの樹名板をつくってみませんか。イラストやコメント入りの樹名板は来園者を楽しませます。また、樹木の名前を調べるには、木をじっくりと観察する(木とつきあう)必要があります。普段は何気なく通り過ぎていた木の良さを再発見する機会にもなるでしょう。

樹名板づくりの事例として、横浜市「公園愛護会通信」の記事をご紹介します。



一樹名板

横浜市「公園愛護会通信」19号(平成19年1月発行)より

樹名板で公園を楽しく！

冬の澄んだ光の中、北風にじっと耐えながら公園の樹木が静かに春を待っている、そんな季節が巡ってきました。葉っぱを落とした冬の木立の中は他の季節よりも明るく、散歩するにはもってこいです。散歩の途中に、あちこちの木々に、工夫を凝らした手づくりの樹名板がかかっているのを見かけたら、なんとなくあたたかい気持ちになって、もう少し遠回りしようかな、と思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は公園を楽しむための技術支援 — 樹名板づくり — をご紹介します。



樹名板づくりの一工夫

樹名板には樹の名前だけを書く小さめのものと、その樹の特徴や名前の由来なども書きこむことのできる大きめのものの2種類の大きさを用意しています。

ある公園では、この大きめの樹名板で「公園のみどころ案内」を作り、園路沿いに取り付けました。みどころの内容は近隣小学校の下級生が授業を通じて学んだことを取り入れて毎年更新していくそうです。この案内板を取り付けたことで、傍らの木々を見上げて立ち止まったり、ゆっくりと歩く人が増えたようです。

横浜市環境創造局環境活動事業課発行



真剣な顔で、木の名前書く子どもたち。手書きの文字には、「いたずらされにくい」という効果もあるようです。

樹木の漢字名(答)

- 1 サクラ 2 クスノキ 3 ケヤキ 4 マテバシイ
5 シラカシ 6 モミジバフウ(アメリカフウ) 7 アラカシ
8 ヤマモモ 9 カイツカイブキ 10 ツバキ

皆さんの活動を「通信」や「ホームページ」でどんどんご紹介したいと考えています。皆さんからの情報をお待ちしています！

公園づくりの手引書「身近な公園再生の進め方」やこれまでの公園再生の事例をホームページでご覧になれます。

広島市ホームページ(<http://www.city.hiroshima.jp/>)

→ ぐらしのインディックス → まちづくり

→ 公園・緑化・緑地保全 → 身近な公園再生事業